

こども体育クラブ について

目的 体操技術を習うことが目的ではありません

こども体育クラブの教育理念は、文部科学省「幼児期運動指針」の理念に基づいています。つまり、幼児教育の一環としてクラブ活動を通じ、幼児期に必要な基礎体力や基礎運動能力を養成していきます。また、社会性の素地を培い、幼児期から児童期の特質である、精神と身体の調和的発達を促していきます。こども体育クラブは、人間形成の土台作り、「生きる力」を育成することを目的としています。

指導の体系 始まりは3歳からプレゴールデンエイジ

子どもたちの発育発達には秩序があります。こども体育クラブの内容は、すべてその秩序に沿って、組み立てられ、年間及び月間のカリキュラムとして学年ごとに体系化されています。

また、指導者は子ども一人ひとりの現状の把握に努め、個々の発達状況や運動経験に応じた、きめ細かい働きかけをしています。

ほめる指導 気づくこと・認めること・褒めること

子どもたちは、子どもである前に一人の人格者です。こども体育クラブでは、それぞれの個性を大切にしていきます。また、これからの時期は「気づいてほしい」「認められたい」という欲求がとて高くなってくる時期でもあります。指導者は、子どもたちの小さな変化を見逃さず大きな「成長」として捉え、受けとめることで、更なる意欲や自信へとつなげていきます。こども体育クラブは「ほめる指導としからない指導」の宣言を行ないます。

